

学習展開例

授業時間 100分



向日市立勝山中学校  
教頭 廣川伸一

執筆

# 料理修業は精神修業 技術を超えるもの

時間配分	学習活動	教師の支援
10分	① 次の文の ( ) に入る言葉を考える。 私は ( ) ために仕事をする。	○ まず書かせる。机間指導で生徒の答えを把握し、多様な意見が出るように指名する。「お金の (ために)」「生きる (ために)」「自分の (ために)」などが予想されるだろう。 ○ 自分中心でない答え、「人の (ために)」「社会の (ために)」などがあれば取り上げ、仕事に対する思いが多様であることを確認する。
35分	② 働くことについて気づいたことをメモしながら、番組の前半を視聴する。  視聴 TV 客に出せる料理を作れるようになるまでの長い道のり ③ 安栗さんが福田さんを市場に連れ出した理由を考える。 ④ 大根の剣 (けん) を全て食べてもらった時の福田さんの気持ちを考える。	○ 農家・八百屋・包丁職人など、他の職業の人とのつながりに注目させる。 ○ 「お客さんのために」という思いで、より良い仕事をする事の大切さについて、じっくり考えさせたい。
5分	⑤ 感謝の気持ちをもって働くことについて、自分の思いを発表する。	○ 番組の内容に触れながら、自分の考えを発表させる。 ○ 次時、番組の後半を視聴することを予告する。
35分	① 良い仕事をするために大切なことは何か、考えながら番組後半を視聴する。  視聴 TV 技術を磨く前に心を磨く  福田さんの目から迷いが消えた ② 未熟な福田さんが、周囲から認められるようになった理由を考える。	○ 視聴する前に、前時に出た意見を紹介し、感謝の気持ちをもって働くことの大切さを思い起こさせる。  ○ 補助発問 ・「技術を磨くために必要なことは何だろう？」 ・「福田さんの目から迷いが消えたのは、何がきっかけだったのだろう？」 ○ 働く上で大切な心構えは、どの仕事においても共通していることを押さえる。
15分	③ 番組を見て、働くことについて考えたことを書く。	○ 前時の冒頭に考えた問いをもう一度投げかけてもよい。 ○ 時間があれば、数名指名して発表させる。